

全苗連だより

Vol. 63 (10月号)

令和元年10月8日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

第5回全苗連生産者の集い 愛媛 松山で盛大に開催されました

47名が表彰され、苗木の予約生産・販売流通体制の構築や
種子・穂木の安定供給体制の確立などを決議文として採択

『第5回 全苗連生産者の集い』が9月5日(木)から6日(金)の二日間、愛媛県松山市をメイン会場にして盛大に開催されました。

開催に当たり、ご尽力いただいた皆様に感謝申し上げます、その内容を次のとおり報告いたします。

【生産者の集い】(初日の9月5日開催)

愛媛県松山市湊町にある「松山市総合コミュニティセンター」に390名が集いました。成瀬要三愛媛県山林



種苗農業協同組合代表理事組合長が開会のことばを述べ、主催者を代表して岸紘治全苗連会長による挨拶、中村時広愛媛県知事(代理;神野一仁副知事)並びに野志克仁松山市長(代理;大濱祥参与)の歓迎の挨拶に続き、ご来賓を代表して本郷浩二林野庁長官並びに村松二郎全国森林組合連合会会長から祝辞を受けました。

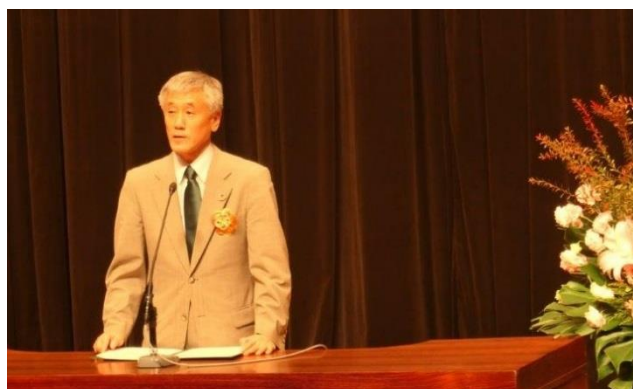
続いて、全国山林種苗品評会・山林種苗等生産事業功労者・永年勤続常勤役職員の表彰が行われ、47名の



岸紘治全苗連会長主催者挨拶

方が表彰されました(表彰者名は[別添1]参照)。受賞者を代表して、全国山林種苗品評会で農林水産大臣賞を受賞された高知県四万十市在住の桑原正雄さんが謝辞を述べました。

表彰式のあとは、講演並びに四国四県の生産者4名による生産者状況報告が行われました。講演は、「愛媛県の林業と遺伝育種の関わり」の演



本郷浩二林野庁長官の祝辞

題で愛媛県農林水産研究所林業研究センター研究指導室主任研究員の西原寿明氏が行い、愛媛県における種苗生産の変遷、ミニチュア採種園からの種子供給の展望等が解説されました。

続いて地元愛媛県久万高原町出身で農家WEB企画製作事務所を主催している竹森まりえ氏がコーディネーターとなって、「苗木生産のこれから—日々私の思うこと—」と題して徳島県の新田達也氏、高知県の公文貴之氏、香川県の篠原茂木氏、



村松二郎全国森林組合連合会会長の祝辞



生産者状況報告「苗木生産のこれから—日々私の思うこと—」の様子

愛媛県の岩崎公彦氏から生産者の状況報告があり、会場と一体となった意見交換が行われました。

次に、全国の苗木生産者が一堂に会したことを一層有意義なものとし、関係方面に広くアピールしていく

ために、生産者の集いの決議文を採択することになり、原案を山内公一愛媛県山林種苗農業協同組合副組合長が読み上げ、満場一致で採択されました。〔別添2〕

続いて、次期開催地の福島県への引き継ぎが行われ、全苗連旗が成瀬理事長から野尻榮一福島県農林種苗農業協同組合組合長(代理;渡辺卓治専務理事)へしっかりと手渡されました。

最後に、全苗連富澤修一副会長より閉会のことばがあり、第5回全苗連生産者の集いは盛会裏に終了しました。

また、同日午後6時から、沢山のご来賓にも出席していただき、「松山モノリス」において情報交換会が和やかにそして温かに開催されました。

【全苗連生産者の集い・視察旅行(愛媛県及び四国各県内にて)】

翌日は、愛媛県及び高知県内の種苗生産地研修並びに愛媛県



現地視察の様子(愛媛県森林組合緑化センターにて)

の歴史、景観等に触

れ合う視察 情報交換会で挨拶する成瀬要三愛媛県苗組組合長
旅行が3コースに分かれて実施され、愛媛への理解が一層深まる一日となりました。



[別添1]

平成30年度 全国山林苗畑品評会☆

農林水産大臣賞 注1;順不同 注2:*コンテナ苗(以下同)

北海道 谷口 洋一郎・希子

福島 福田 三郎 *

茨城 大森 頼正

岡山 細川 努 *

高知 桑原 正雄 *

熊本 坂本 信介 *

林野庁長官賞

岩手 吉田 正平 *

岩手 岩手林業株式会社

宮城 セイホク株式会社 *

宮城 千葉 勇作 *

秋田 田村 政則*

茨城 大森 龍一

栃木 森戸 良樹 *

栃木 赤荻 武平 *

神奈川 高橋 義雄

長野 荒井 里佳子 *

三重 潮田 広幸

和歌山 久保 拓人

岡山 多賀 正実 *

広島 古本 啓之

広島 林 唯雄

愛媛 佐藤 昭夫

福岡 野口 広孝

宮崎 森田 文雄

全苗連会長賞

北海道	北海道ニッタ株式会社
秋田	佐々木 正一
和歌山	株式会社 中川 *
鹿児島	西原 敬一

☆ 令和元年度 山林種苗等生産事業功労者☆

林野庁長官賞

岩手	佐々木 吉昭
長野	中村 光一
静岡	田中 靖浩
福岡	森 茂喜
熊本	原田 幸雄
大分	穴井 豊水

全苗連会長賞

北海道	大野 江二
岩手	今野 俊朗
宮城	佐藤 光紀
秋田	高橋 正男
山梨	清水 康男
長野	菅沢 和博
静岡	渡邊 正章
和歌山	竹田 二郎
山口	鍋井 進
鹿児島	吉留 正信

☆ 永年勤続常勤役職員☆

北海道	篠島 昌史
北海道	佐藤 美登里
岩手	奥 義春

第5回全苗連生産者の集い決議文

令和元年は、森林経営管理法の施行や森林環境税・森林環境譲与税の制度化など「森林・林業改革」の元年となる重要な年であり、主伐の増加に対応する確実な再造林をはじめ、森林資源の循環利用を通じた林業の成長産業化に向けた対策や国際的に表明した温室効果ガスの削減目標を達成するための森林吸収源対策を推進することが肝要である。

さて、我々、全苗連の苗木生産者は、山林種苗の需給関係が、昭和40年代初頭をピークに右肩下がりで減少が続くという厳しい経営環境下で、また、過疎や生産者の高齢化が進展する中山間地において、苗木生産を続け、安定供給への大きな使命を果たしてきた。

ところが、近年、地球温暖化の影響等により局地的豪雨が増加する中、昨年西日本豪雨災害においては、広域に及ぶ記録的豪雨により、未曾有の大災害になった。集中豪雨や台風による苗木生産者への直接の被害については大きくなかったものの、この天候不順はその後の生育、得苗に大きな影響を与えたところである。このため令和元年度は各地で苗木不足が発生したところである。

そして、一方では、苗木の需要量の急増という事態も発生した。今春、全国7地区のうち5地区で前年度同時点での見込みより需要量の急増（対前年比106%～132%）が見られたところである。天災による供給量の減少と、需要量の見通しの甘さによる相乗効果が、苗木不足という深刻な状況を招いている。これまで、余剰苗対策が中心議題であった苗木の需給調整のあり方について、「増産を行うために大前提となる確かな需要量が見通しづらい」という重要な課題が露わになってきたところである。

このような状況下で、我々、全苗連の苗木生産者は、これまでの経験・実績・技術に基づき、品質の保証された優れた苗木の安定供給に大きな使命を担っているところであり、行政機関による苗木需要量の見通しや需給調整機能の充実、苗木の予約生産・販売体制の構築と苗木生産施設の整備や苗木生産の元となる種子・穂木の安定供給体制の確立及び調和のとれた苗木生産者組織の育成強化について国のさらなる支援を求めるとともに、後継者育成に務め、かつ、育苗技術等の向上を目指していく所存である。

我々、全苗連の苗木生産者は、本日ここに次の事項の実現について強く要望する。

- 一 主伐の増加に対応する確実な再造林に必要な森林整備予算の拡充
- 一 苗木需給量の見通し及び需給調整機能強化並びに苗木の予約生産・販売流通体制の構築
- 一 苗木生産の元となる種子・穂木の安定供給体制の確立
- 一 コンテナ苗生産に適した品種や優良品種の開発並びに生産技術の開発推進
- 一 調和のとれた苗木生産者組織の育成強化
- 一 後継者育成の支援

以上、決議する。

令和元年9月5日

全国山林種苗協同組合連合会

全苗連・苗組の行事予定

～R2. 3 ①コンテナ苗生産未経験者を対象とした研修会の実施 ②コンテナ苗生産に新規参入後、間もない事業者を対象とした研修会の実施 ③コンテナ苗生産経験者を対象とした巡回指導の実施 ④造林者等を対象としたコンテナ苗の植栽に関する研修会の実施 ⑤その他研修会の実施等 ⑥種苗の需給情報等を共有する取組
実施者;全苗連、都道府県苗組

10月1日 第6回全苗連生産者の集い開催準備委員会(福島市「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)」)

10月16日 第60回林政記者クラブ賞(グリーン賞)贈呈式(千代田区霞が関 商工会館)

10月17日 全国森林組合代表者大会(メルパルクホール東京)

10月24日 外国人技能実習制度活用に向けた意見交換会(全森連中会議室)

10月30日 林業分野における外国人技能実習シンポジウム(愛媛県 松山市にぎたつ会館)

11月1日 花粉発生源対策普及イベント(全林協)(大分県森連)

11月6日 北海道・東北地区林業用種苗需給連絡協議会(秋田県 秋田地方総合庁舎)

～7日

11月11日 コンテナ苗生産技術等検討委員会(第2回)(日本森林技術協会)

11月12日 全苗連関東地区協議会(群馬県庁昭和庁舎)

11月13日 花粉発生源対策普及イベント(全林協)(宮城県)

11月14日 九州地区林業用種苗需給連絡協議会(熊本県 熊本テルサ)

～15日

11月18日 花粉発生源対策普及イベント(全林協)(岐阜県)

11月21日 近畿地区林業用種苗需給連絡協議会(京都府庁)

～22日

11月28日 中国地区林業用種苗需給連絡協議会(島根県庁)

～29日

12月12日 東海・北陸地区林業用種苗需給連絡協議会(長野県)

12月15日 全国育樹祭(沖縄県)

12月19日 四国地区林業用種苗需給連絡協議会(香川県 サンポートホール高松)

～20日

12月21日 花粉発生源対策普及シンポジウム2019(全林協)(大阪府)

令和2年

1月17日 関東地区林業用種苗需給連絡協議会(静岡県)

- 1月30日 当年生苗導入調査委託事業第2回検討委員会(日林協会館)
- 5月12日 令和2年度全苗連理事会(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋)
- 5月22日 令和2年度全苗連通常総会(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋)